ヲ提出セリ、之ヲ見タル高木氏ハ妥協ノ余地ナシトシテ再ビ決裂セリ

以後組合側ハ業主得意先タル荷主、日本郵船、大阪商船、住友、大正運輸等アラユル方面ニ解決促進ノ訪問ヲ行ヒ形勢漸ク不穏ノ徴アリ。

五月二十五日特高課ニ於テハ業主、組合双方ヲ召喚シテ解決促進ニ就テ考慮ヲ促シタレバ本爭議モ茲兩三日中ニハ解決スルモノニ非ズヤト觀考サル。

財團法人協調會大阪支所